



●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲警告…取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- ステー取付けねじは $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

▲注意

- ガラス、ビードは必ず指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
 - 本製品は、ガラスを入れると製品重量が最大95kgとなります。ガラス、障子の取付けは枠取付け後に行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
 - 下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・必ず $45 \times 100 \text{mm}$ 以上の窓台(敷居)・ 30mm 厚以上の間柱(ピッチ 500mm 以下)で開口部を作ってください。
 - ・指定のねじで枠を固定してください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
 - ・ガラス保持金具(室内)取付け後、ガラス保持金具(室内)下端と下枠カバー下面の距離が $15 \sim 18 \text{mm}$ になっていること、ガラス保持金具(室内)が室内側に外れないことを確認してください。外れてしまう状態では取付けが不完全なため、所定の防火性能を満たしません。
 - ・ガラス保持金具(室内)の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。ねじのかけりが不十分な場合、所定の防火性能を満たしません。
 - 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- ※本製品は浴室に使用できません。

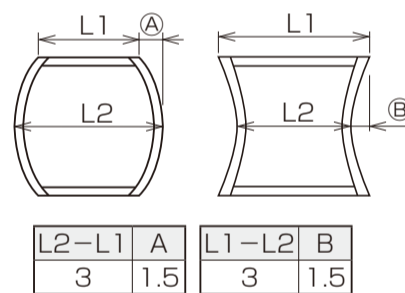
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	ねじは適正トルクで止められているか?	<input type="checkbox"/>
2	後付けビードのコーナー部には切れ目を入れて押込みましたか?	<input type="checkbox"/>
3	後付けビードは余長を持たせて取付けましたか? (目安 1000mm あたり 30mm)	<input type="checkbox"/>

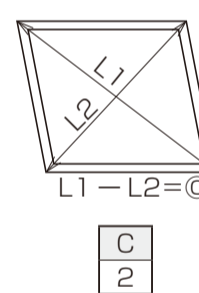
■取付け上のお願ひ

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
 - 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
 - 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
 - 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
 - 枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
 - 電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク $1.5 \sim 2.0 \text{N} \cdot \text{m}$ { $15 \sim 20 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ } にて取付けを行ってください。
 - 節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、 $\phi 2.5 \text{mm}$ 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
 - 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
- ※ガラス、製品破損防止のため、障子、ガラスは枠を躯体に固定した後に取付けしてください。

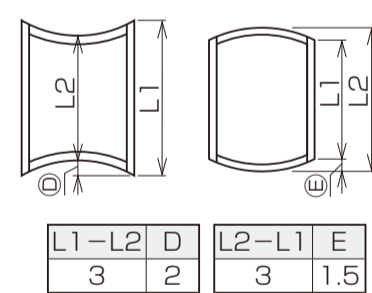
■サッシ枠のフレ・ツツミ



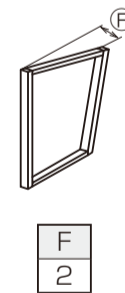
■サッシ枠対角差



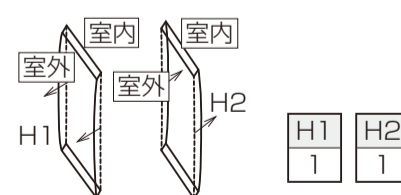
■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



■サッシ枠のねじれ



■サッシ枠の室内外のソリ



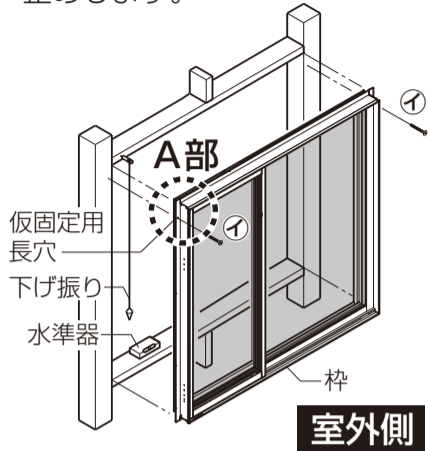
■部品・ねじ一覧表

用途 記号	枠取付けねじ		障子取付けねじ	FIX窓部のガラス押さえ部品		
	㊦~㊧	㊨	㊩	㊪	㊫	㊬
姿図						
使用部位	低頭ねじ $\phi 3.1 \times 25$ 室外側	丸木ねじ $\phi 3.5 \times 25$ 室内側アルミフィン	薄平小ねじ $\phi 4 \times 10$ ステー	ガラス保持金具(室内)左用/右用 縦枠/方立	押縁 上枠用 上枠	押縁 縦用 縦枠/方立

■ 枠取付け順序

1 枠の仮止め

● 開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に①枠取付けねじで枠を仮止めします。



2 枠の調整と固定

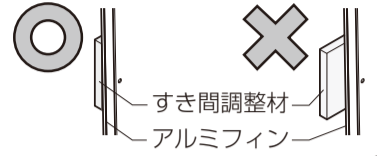
● 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ②を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ③を固定します。
※ 柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

お願い

※ 枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じる原因となります。

お願い

※ アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。
※ アルミフィンは、790≦Hに取付けしてあります。

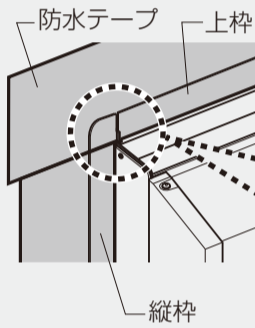


▲ 注意

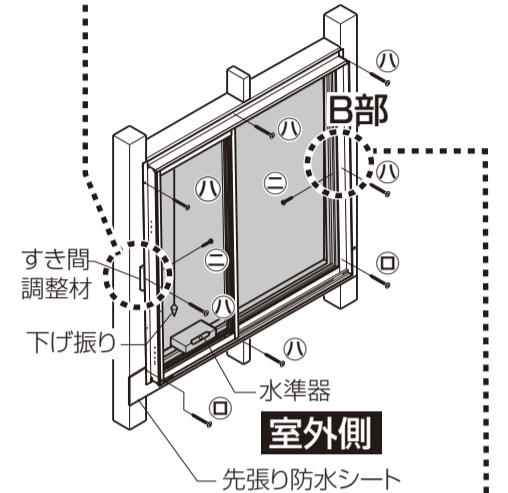
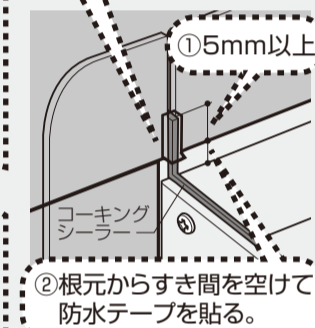
● 漏水防止のため、下記事項をお守りください。

- ・ 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- ・ 本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に下記①～③に従って、防水テープ(別売り)を張ってください。

- ① コーキングシーラーに5mm以上重ねる。
- ② 根元からすき間を空ける。
- ③ ピンホールを生じさせないように必ず圧着する。

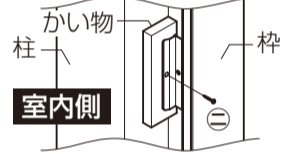


③十分に強くこすりつけて、ピンホールが生じないようにする。

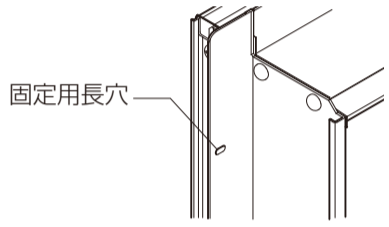


■ B部詳細図

※ 枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。



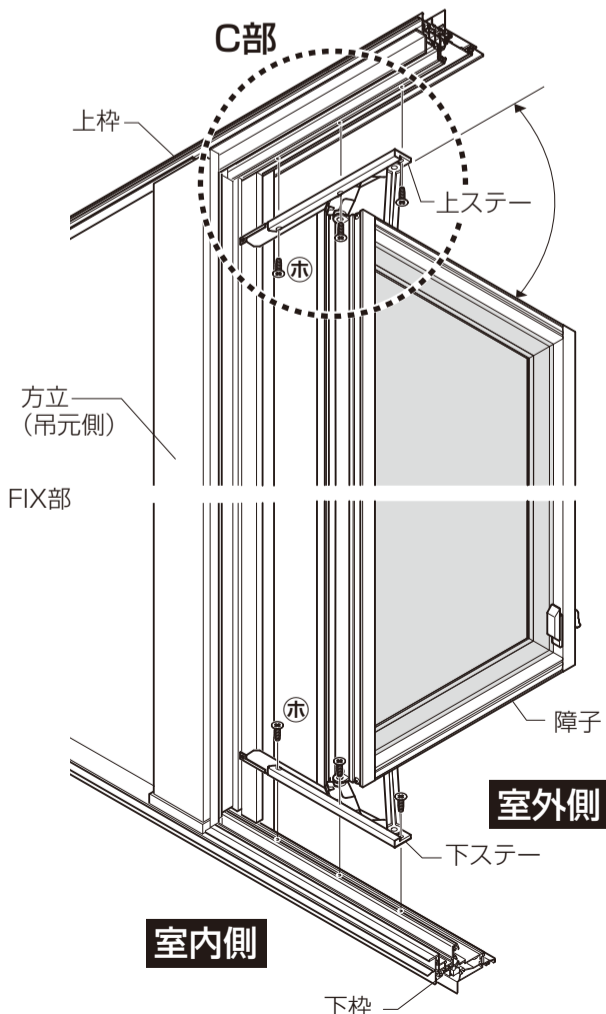
■ A部詳細図



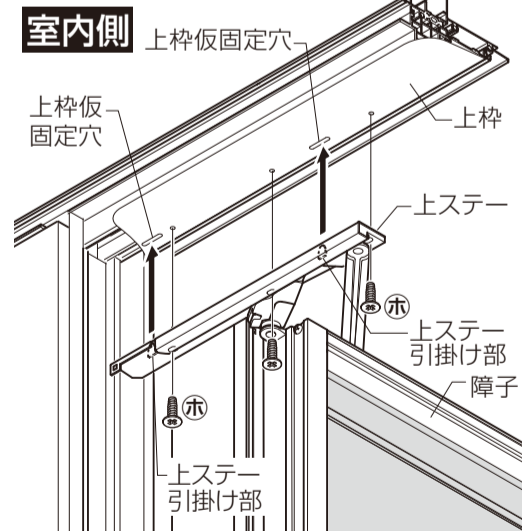
■ 縦すべり出し窓部の障子の取付け

※ ガラス、製品破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に取付けてください。

- ① 障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
 - ② 上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2箇所)
 - ③ 下ステーを下枠にのせます。
 - ④ 下ステーのねじを最初に取り付けます。(障子が仮止めされます。)
 - ⑤ 残ったねじをすべて固定します。
- ※ 逆の手順で障子を取外せます。



■ C部詳細図

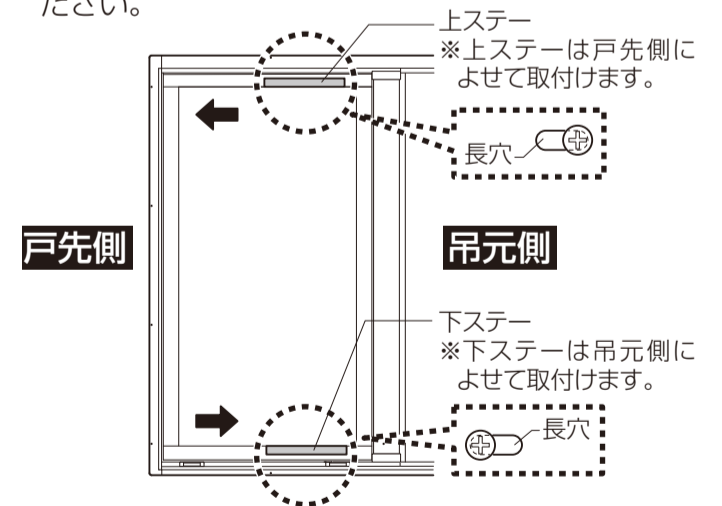


▲ 警告

● ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

■ 障子の取付け位置

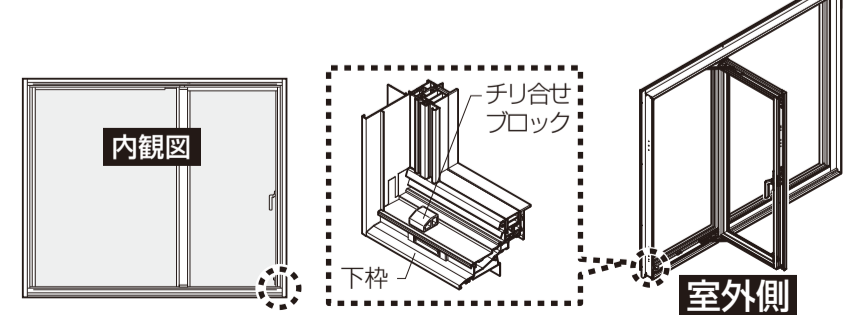
※ 上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は下図のように位置決めしてください。



■ チリ合せブロックについて

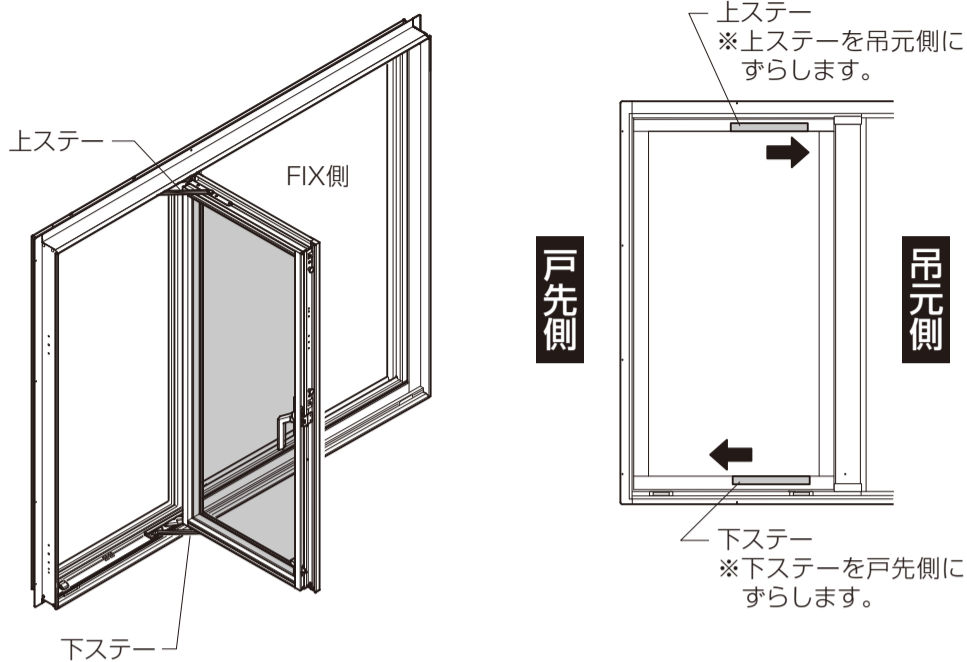
※ 縦すべり出し窓に付いているチリ合せブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。
※ 施工完了後は、必ずチリ合せブロックを取外してください。(窓の開閉に支障が出ます。)

【チリ合せブロック取付け位置】



■障子の建付け調整

■障子の戸先が下がっている場合



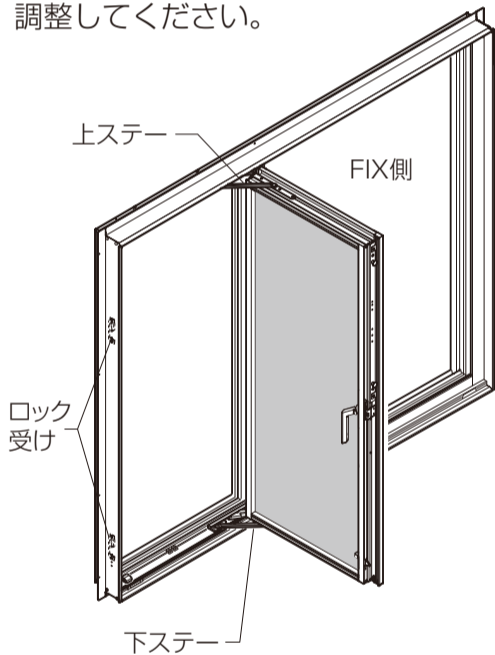
上・下のステーを左図の方向にずらしします。
 ※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、左図のようにステーの位置を調整してください。
 ※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。
 ※調整後、ステー取付けねじを締めなおしてください。

▲警告

●ステー取付けねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

■ハンドル操作が重い場合

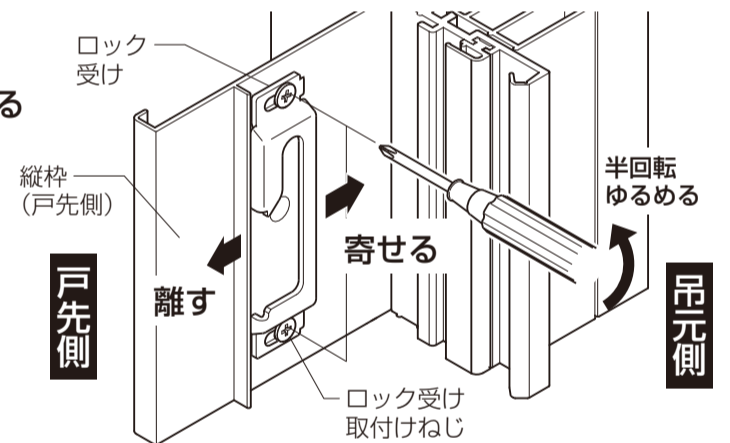
ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
 ※ロック受け取付けねじをゆるめ(上下半回転)、位置を調整してください。
 ※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[ハンドルの操作が重い場合] → 離す
 [ハンドルの操作が軽い場合] → 寄せる

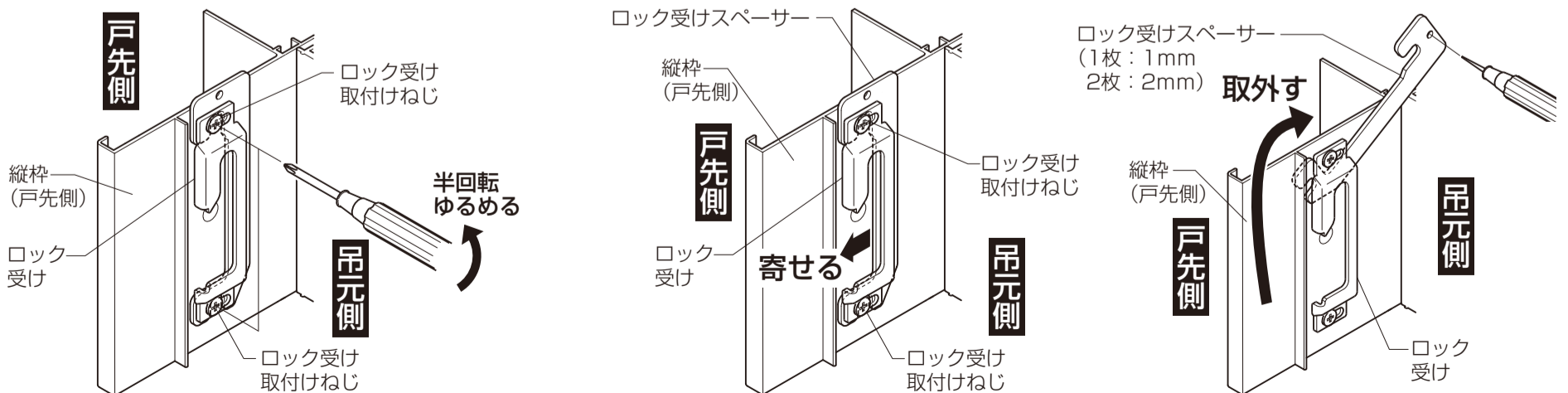


●ロック受けスペーサーの調整

※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。
 ※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。
 (上下半回転)
 ※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
 ※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
 ※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。
 ③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
 (ロック受けの調整を参照)

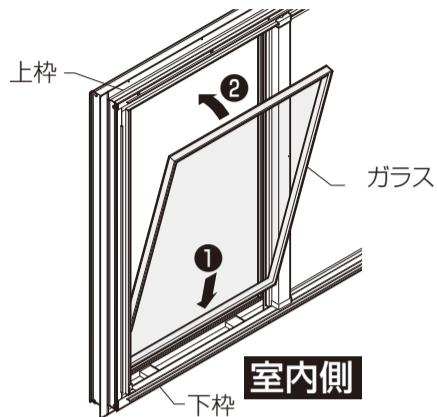


■FIX窓部の取付け

1 ガラスの建込み

※ガラス、製品破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に取り付けてください。

●下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。



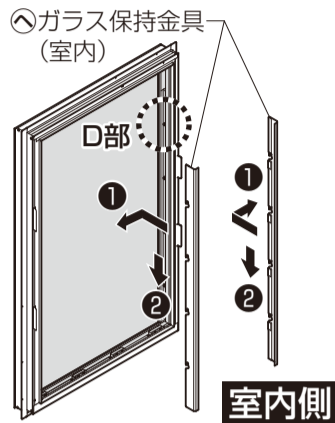
2 ガラス保持金具(室内)の取付け

①Ⓞガラス保持金具(室内)の穴部を段付ねじ頭に差込んでください。

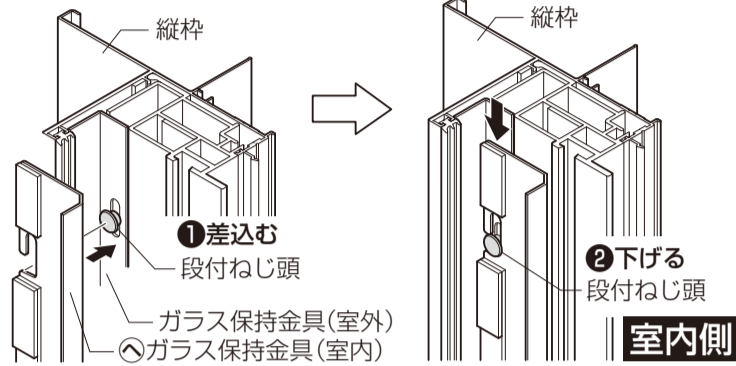
②Ⓞガラス保持金具(室内)の穴部がすべて段付ねじ頭に入っていることを確認してから、ガラス保持金具(室内)を下げてください。

※ガラス保持金具(室内)を下げられない場合は、段付ねじを半回転ゆるめてください。

※ガラス保持金具(室内)が取付けにくい場合は、ガラスを中央の位置から5mm程度片側に寄せ、十分なクリアランスを確保して取付けしてください。取付け後は、ガラスを中央の位置に戻してください。



■D部詳細図

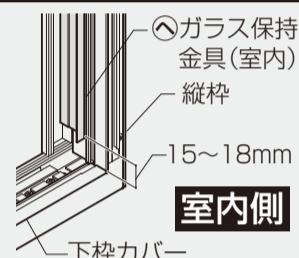


▲注意

- ガラスは必ず指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。

▲注意

- 下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項を守りください。
- ・ガラス保持金具(室内)の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。
- ・ガラス保持金具(室内)取付け後、ガラス保持金具(室内)下端と下枠カバー下面の距離が図の寸法になっていること、ガラス保持金具(室内)が室内側へ外れないことを確認してください。



3 押縁の取付け

●縦→上の順に押縁を入れます。

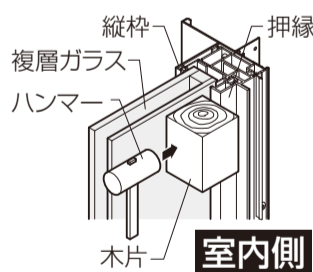
※押縁(縦用)は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。

※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



お願い

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れることがあります。



4 後付けビードの取付け

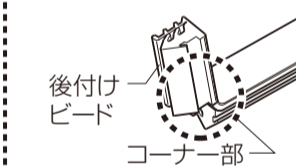
●図の①のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。

余長なく押し込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。

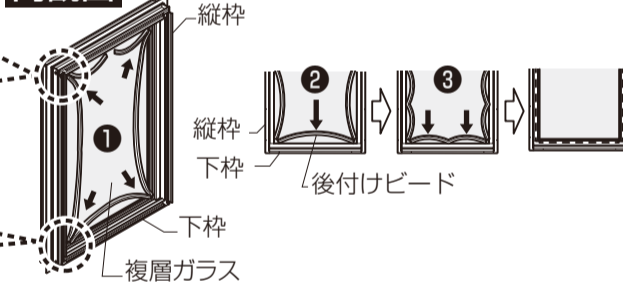
[後付けビードの余長の目安1000mmあたり30mm]

●図の②③のように数箇所、均一にたわむように仮止めしてから押し込みます。

※後付けビードのコーナー部には、カッターで切れ目を入れてください。

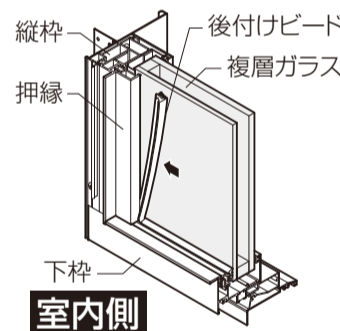


内観図

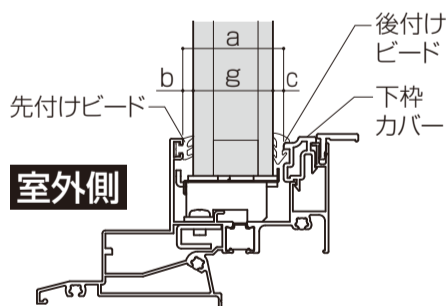


【ビードの押し込みがきつい場合】

後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。



■ガラスビードの使用区分



■PG(複層ガラス) a=34

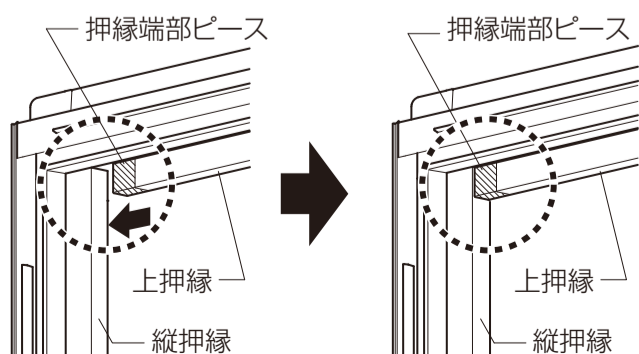
ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売り)
27	6.8-15-5	3	4 EGZ□35

■トリプルガラス a=45

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売り)
35	4-11-5-11-4	4	6
35	5-10-5-10-5	4	6 EGZ□33

■押縁端部ピースの調整

●W2 (FIX部)>780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。



▲注意

●後付けビードは必ず指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。

■ガラスの外し方

※取付けと逆の手順で取外してください。

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に右図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して左右の押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。)

